

【5】ベーシック級の出題ポイントと弱点

◆ベーシック級の出題ポイント <出題欄の◎は計算問題あり>

ベーシック級は、その名のとおり、浅く広く、基本的な項目から出題されており、生産全体の基礎知識の習得や再確認をはかり、日常の業務推進や改善効果のアップにつなげていただく入門編です。

そのため、「役割」では現在の生産形式がどのように生まれてきたのかという『分業のメリットとデメリット』、現場の仕事として『測定時の誤差と正しい行動』、また生産にかかわる基礎用語や行動として『5M』『5S』『5W1H』『小集団活動をうまく行うための条件』などの内容になっています。

他の4分野もまさに基本であり、「品質」は『品質特性(真の特性)』『QC、SQC、TQC、TQM』『日常保全の要点』『混入防止に必要な検査』『不良低減の手順』『統計的手法(図表化)』、「コスト」は『生産の4種類の工程(お金になっている仕事)』『編成ロス・設備ロス・材料のロス』『改善の優先順位』『日常業務の注意点』、「納期・生産管理」は『計画標準資料』『作業計画』『計画と進み具合の確認』、「安全・環境」は『ハインリッヒの法則』『労働安全衛生法』『典型7公害』『地球の環境問題』『工場環境問題と環境法令』などが出題されています。以下の内容を参考に、基本を確認してください。

単位	章	節	※本表は通信教育テキスト用ですが、書籍く公式テキストとも本表に準じた構成・内容になっています。	ページ	分野	出題	出題数	配点	
第1単位	1	企業の社会性と役割			役割		11	18	
		1.1	生産が築く豊かな社会	2-4		○			
		1.2	必要な会社の発展	5-8		○			
	2	会社のしくみと製造現場の仕事			役割				
		2.2	現場の仕事	24-32		○			
		2.3	生産の要素を管理しよう	33		○			
	3	仲間づくりと人間関係			役割				
		3.1	働きがいのある職場づくり	38-41		○			
		3.2	問題意識が職場環境を良くする	42-47		○			
		3.3	上手なコミュニケーションを図ろう	48-52		○			
		3.4	小集団活動で行う問題解決	53-56		○			
	4	コストとは何か			コスト				
		4.4	ものづくりに必要な作業とは	68-72		○			
	5	コストにつながるムダ			コスト				
5.1		人の作業ロス	76-80		◎				
5.2		設備のロス	81-85		◎				
6	材料のロス		86-88		◎				
	コスト低減の進め方			コスト					
	6.1	改善の手順	92-96		○				
	6.2	日常業務の注意点	97-101		○				
第2単位	1	良い品質とは			品質		13	20	
		1.2	生産における品質	6-13		○			
		1.3	品質管理とは	14-19		○			
	2	不良品を作らない			品質				
		2.1	作業の5要素と不良	24-26		○			
		2.3	機械設備の管理	29-32		○			
	3	不良品を混入させない			品質				
		3.2	混入防止に必要な品質意識	46-48		○			
		3.4	混入防止に必要な検査	51-52		○			
	4	不良低減の進め方			品質				
4.1		不良低減のねらいと進め方	56-62		○				
4.3		不良を低減するための基礎知識	66-75		◎				
第3単位	1	まず納期を守ろう			納期・生産管理		14	22	
		1.3	大切な生産計画	10-15		○			
		1.4	作業計画は現場の時刻表	16-19		○			
	2	事前準備で納期を守る			納期・生産管理				
		2.1	作業計画ができるまで	24-28		○			
	2.2	計画を立てる難しさ	29-36		◎				
	3	作業の瞬間で決まる品質・納期・コスト			納期・生産管理				
		3.1	材料・治工具の準備	40-43		○			
		3.2	仕事の順番を守ろう	44-47		○			
		3.3	仕事の進捗をつかもう	48-50		○			
		3.4	計画と進み具合の確認	51-56		○			
	4	職場の安全管理			安全・環境				
		4.2	安全管理の基本	66-68		○			
		4.3	安全管理に関する法規制	69-71		○			
5	企業と環境問題			安全・環境		8	15		
	5.1	企業が抱える環境問題とは	76-80		○				
	5.2	工場の中の環境問題	81-83		○				
計							60	100	

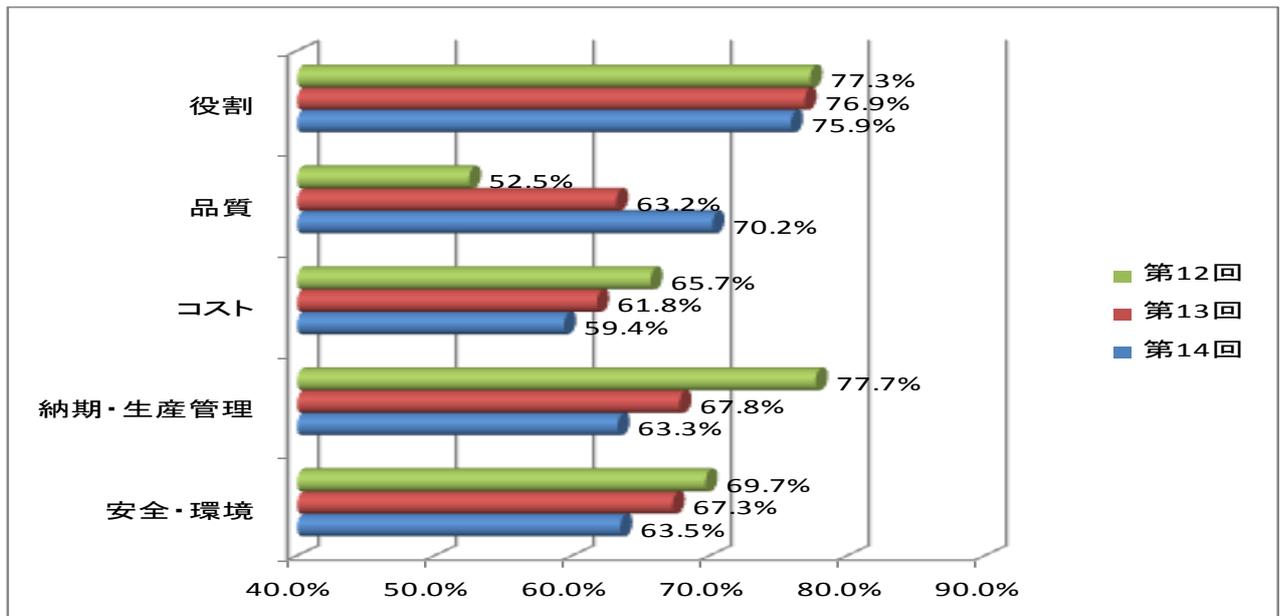
◆ベーシック級の分野別得点率と弱点項目

第14回のベーシック級は、合格率は第13回と比べてほぼ同じ（68.1%→68.0%）ですが、平均点は全級の中で唯一66.8点→66.0点と下がっています。このことは、下記の分野別得点率の「品質」以外の4分野が下がっていることを見ると納得できることと思います。

分野別の詳細を見ると、「品質」は『品質管理（広義と狭義）の定義：第2単位P14』、「コスト」は『補助機能の作業：第1単位P72』『編成ロスの計算：同P79』、「納期・生産管理」は『計画標準資料：第3単位P11』『計画と進み具合の確認：同P52』、「安全・環境」は『労働安全衛生法：同P69』『安全衛生管理体制：同P71』が弱点です。（なお、「役割」は、きわだった弱点項目はありません。）

きわだった弱点項目とまではいえませんが、正答率が50%程度の項目では、『環境変化、グローバルな視点：第1単位P8』『段取調整：同83』『混入防止に必要な検査：第2単位P51』『作業計画・指示のシステム化：第3単位P35-36』『典型7公害：同P77』『工場の環境問題と環境法令：同P83』が挙げられます。これらの内容については、検定の可否にかかわらず、受検者全員、再度テキストを復習し、確実にマスターしてから、3級へチャレンジしていただきたいと思います。

●分野別得点率



●編成ロス

